

輝くねむろ

We Love Nemuro!



明るい根室のニューフェイス

「日本語を早く覚えて、将来的には日本で働きたい」と笑顔で話してくれたのは、8月5日から外国語指導助手（ALT）として根室に着任したガニョン・ジェシカさんです。

カナダのコンコルディア大学でデザイン学科を専攻し、グラフィックデザイナーの経験がある芸術家のジェシカさんは、写真を撮ることが趣味で、「根室の自然の豊かさに大変興味があり、いろいろな所に足を運んでもっとこの地を知りたい。」と、力強く話してくれました。

ですが、ALT同士の仲がよく、さんま祭りには道内のALT仲間と楽しんだそうです。

今は片言の日本語しか話せませんが「単語とジェスチャーなどで会話は成り立つ」と熱く語ってくれたジェシカさん。自ら教材に使うビデオなどを作り、授業に備えるほど指導にも熱心で、「生徒の英語に対する抵抗を無くして楽しく学んで欲しい」と意気込んでいました。

これから、ジェシカさんの熱心な指導に触れ、根室から国境を越え交流できる人材が一人でも多く現れることを期待しましょう。



中学生に指導するジェシカさん

profile ガニョン・ジェシカさん

外国語指導助手

1987年生まれ。趣味は、カラオケ（特にX-Japanが好き）、ウィンタースポーツ、ユニクロでショッピングすること。特技は料理（イタリアン）、高校時代に、日本料理店でアルバイトしていて、寿司を作っていた。日本の音楽、映画、芸術（書道）が好きという。

図書館からの おくりもの

司書補 中村 英博
図書館 TEL (23) 5974番



市民の皆さんへ

読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋等々、秋を表現する言葉は色々あります。それだけ猛暑の夏を受けて、秋はとも過ごしやすい季節だからなのでしょう。かたや、夕暮の時間帯は人恋しく物悲しげな雰囲気につつまれます。秋は、人を思慮深くさせる独特の世界観をもたらしてくれます。秋の夜長には、やはり読書が似合います。

さて、10月27日(日)から始まった2013・第67回「読書週間」は、半ばにさしかかり、様々な事業やイベントが各方面で展開され、11月9日(木)まで続きます。図書館では、9月18日(水)に「第41回古本市」実行委員会より222冊の児童書が読書週間に向けて寄贈され、特設コーナーにて展示貸出しが行われています。この古本市の開催に対しまして、日ごろから市民の皆さんには、長年多大なご理解とご協力をいただき、心より感謝いたします。

なお、来年6月開催予定の古本市にご提供いただいた本については、図書館の保管スペースの関係で、年間を通じてお預かりすることが困難となりました。このことに伴い、「古本市」への提供図書の数書館持ち込みは、平成26年3月からの受付となります。

これからの古本市の継続のために、古本市実行委員会へ変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

- ・「第42回古本市」平成26年6月開催予定。
- ・ご提供図書の受付は平成26年3月から。